

電子書籍の価格と需要に関する国際比較

International Comparison of the Relationship between Price and Demand of E-books

学籍番号：201921634

氏名：下野 幹弥

Shimono Mikiya

日本の書籍市場では再販売価格維持制度の下、紙書籍は全国どの書店でも定価で販売されるが、電子書籍は自由な価格設定が可能となっている。また海外では、書籍の定価販売を認めていない米国や、一定期間後に定価販売を解除するドイツなど、各国で書籍価格への対応が異なる。しかし、諸外国の書籍市場の違いに注目した分析や、日本の書籍市場に関する実証的研究は少ない。そこで本研究では、日本を含めた諸外国の電子書籍の価格と需要量の関係に注目し、書籍の性質について分析を行った。本研究の目的は、電子書籍の価格変動を用いて電子書籍及び紙書籍の「需要の価格弾力性」を推定し、日本、米国、英国の書籍の性質について国際比較を行うことである。

本研究では、オンライン書店「Amazon」の公開する電子書籍の順位・価格データを用いて、価格の変化に対して需要量がどれだけ反応するかを表す「需要の価格弾力性」の推定を行った。調査対象として、日本、米国、英国の電子書籍タイトルを選定し、調査対象タイトルの電子書籍及び紙書籍の順位・価格データを収集した。書籍カテゴリや販売形態によって分類を行ったタイトル群毎に、順位と価格の関係について回帰分析を行い、需要の価格弾力性を推定した。

分析の結果、日本、米国、英国の書籍の価格弾力性の分析によって、3か国の書籍の需要の価格弾力性の値は1を下回り、電子書籍の需要は価格に対し非弾力的に反応するという結果となった。また、カテゴリ間での価格弾力性の分布は各国で大きく異なり、出版市場の特徴が現れた。紙書籍と電子書籍の交差価格弾力性の分析では、日本と米国において独立財の関係が示され、英国では補完財の関係にあることが示された。これらの結果から、各国で書籍価格に対する消費者の購買行動と書籍市場の性質の違いがあると考えられる。本研究を通して、諸外国の書籍市場の需要傾向と価格の関係を多角的に明らかにすることで、今後の出版産業と電子書籍・紙書籍市場の関係について、議論に貢献することができた。

研究指導教員：池内 淳

副研究指導教員：歳森 敦